

《担当者名》冨家 直明

【概要】

認知行動療法の過去の理論や重要な文献を整理し、プロセスベースな心理療法としての認知行動療法の捉え直しを試みるとともに、AI等の現代の科学技術の援用や法律、行政制度、経済的、人的コストを加味した現実的かつ未来的な新世代型心理療法の創出を領域超越的思考により考えることを目標とする。

【学修目標】

行動療法、認知療法、マインドフルネス、アクセプタンス、応用行動分析等、これまでの認知行動療法の各技法や理論等をそれぞれの歴史を踏まえて概観、整理する。

上述の知見に新しい科学技術や社会制度の特徴を反映させ、統合した新しい世代の心理療法を考究する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	History and Current Status of CBT	エビデンスベースセラピーとして発展してきた認知行動療法の歴史と主要理論を振り返る。	冨家 直明
2	Philosophy, Science, Law, & Economics in CBT	心理療法や臨床心理学の社会的実践における功罪について、科学論、哲学や倫理、法律や行政制度、社会経済の観点から振り返り、整理する。	冨家 直明
3	Information Technology and Changing Role of Practice	認知行動療法が用いるまたは開発してきた心理測定や変容技法に関する変容テクノロジーを抽出し、その成り立ちと応用方法を考える。	冨家 直明
4	CBT with AI	人工知能(AI)を活用した認知行動療法の可能性について考える。	冨家 直明
5	Core Behavioral Processes	行動とは何かについて、そのプロセスを社会的文脈、環境的要因に即して再考する。	冨家 直明
6	Emotions and Emotional Regulation	感情制御の理論や技法、神経科学的基盤について最新の情報を整理する。	冨家 直明
7	Contingency Management(CM)と Stimulus Control (SC)	CMとSCの理論の概観、ベーシックコンポーネントの整理、ケーススタディの例題を呈示する。	冨家 直明
8	Shaping	Shapingの理論的バックグラウンド、技法の詳細、応用の可能性について考える。	冨家 直明
9	Self-Management	Self-Managementの理論や歴史、行動をマネージする技法の概観、アセスメント方法、オペラント行動の変容方法、感情行動の変容方法について考える。	冨家 直明
10	Arousal Reduction	ARの理論や歴史、各種感情障害との関係、呼吸法、PMR、応用リラクゼーション、マインドフルネス、ビジュアライゼーション、自律訓練などの整理比較。	冨家 直明
11	Coping & Emotion Regulation	ストレス対処における情動制御の理論の概観。再評価とアクセプタンス。文脈の役割の認識。	冨家 直明
12	Exposure Strategies	Exposure Strategiesの理論と歴史の概観。Exposure法のタイプとその実際。	冨家 直明
13	Behavioral Activation	BAの理論と歴史。テクニックとプロセス。応用方法についての考察。	冨家 直明
14	Enhancing Motivation	MIのプロセスと原則。経験的サポートに関する文献の紹介。活用できるツールの紹介。	冨家 直明
15	Future Directions in CBT	統合的CBTの行方と社会実装に関する議題、もしくは心理実践家の社会的実践のあり方に関する討議。	冨家 直明

**【授業実施形態】**

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

**【評価方法】**

レポート100%

**【教科書】**

Process-Based CBT Hayes,S.C. & Hofmann,S.G. Context Press

**【参考書】**

実践・LTD話し合い学習法 安永悟著 ナカニシヤ出版

**【備考】**

授業の進め方はアクティブラーニングの技法であるLTD法に基づく討議形式である

**【学修の準備】**

LTD法は事前に教科書及び関連文献を読み、課題を明瞭にしてから参加する技法であるため、予習の時間が必要である。

**【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】**

本科目の内容は、臨床現場、教育・研究領域において必要な指導的能力と研究能力を修得し、人の尊厳を重んじて社会に貢献できる能力を修得するという臨床心理学専攻博士後期課程のディプロマ・ポリシーに適合している。

**【実務経験】**

公認心理師、臨床心理士

**【実務経験を活かした教育内容】**

公認心理師、臨床心理士としての臨床経験を活かした講義を行う。